

平成 20 年度
岡山三川水質汚濁防止連絡協議会

日時 : 平成 20 年 8 月 6 日 14 : 00 ~ 15 : 30
会場 : メルパルク岡山 1 階 「泰平」

議事次第

- 1 . 開会
事務局
(岡山河川事務所防災情報課長)
- 2 . 挨拶
会長
(岡山河川事務所長)
- 3 . 議題 (予定)
 - (1) 規約改正について
 - (2) 平成 20 年度事業計画 (案) について
 - (3) 平成 19 年水質事故発生状況について
 - (4) 平成 19 年の水質について
 - (5) 「岡山三川水質事故対策マニュアルについて」
 - (6) 通報・情報伝達の遅れた事例について
 - (7) その他連絡事項・質疑応答
- 4 . 挨拶
副会長
(岡山県土木部河川課長)
- 5 . 閉会
事務局
(岡山河川事務所防災情報課長)

岡山三川水濁協の事務局受報分でのH19水質事故発生状況

(1)水質事故事務局受報件数

水質事故受報件数は図 - 1 に示すとおり、10年ほど前は約10件前後程度を受報していましたが、近年は20件から30件程度で推移しています。

平成18年は28件、平成19年は30件受報しています。平成6年以降、平成15年と同数で、1番受報件数の多い年となっています。

平成20年は7月30日時点で既に28件に達しています。

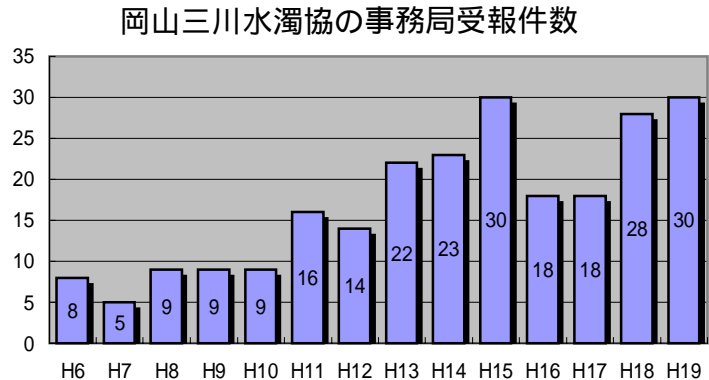


図 - 1

(2)月別受報件数

水質事故受報件数は図 - 2 に示すとおりで、最も水質事故受報件数の多い月は7月の6件となっています。その内訳は、下記のとおりです。

- ・発生原因の判明したもの 3件
(発生事象:油の流出、魚のへい死)
- ・原因の不明なもの 3件
(発生事象:油の流出、魚のへい死)

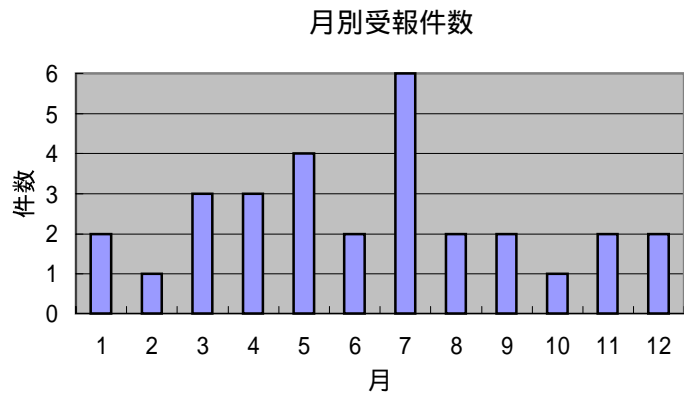


図 - 2

(3)水質事故の発生事象

平成19年に発生した水質事故の発生事象別の内訳を図 - 3 に示します。

30件のうち油の流出に伴う水質事故が全体の24件(80%)、魚のへい死が3件(10%)、化学薬品等の流出が1件(3%)、その他が2件(7%)となっています。

H19水質事故の発生事象別(事務局受報分)

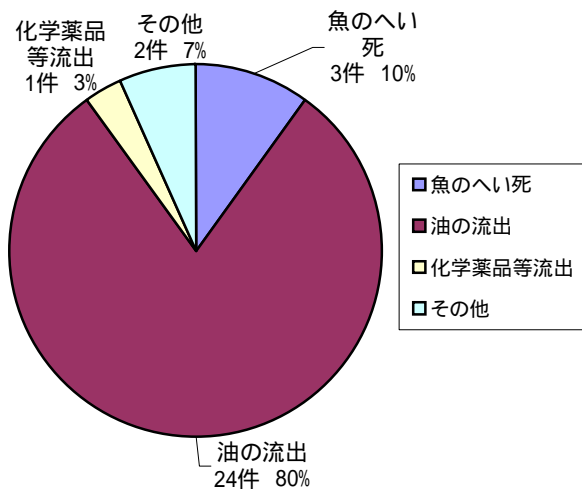


図 - 3

(4)水質事故の発生原因

平成19年に発生した水質事故の発生原因の内訳を図 - 4 に示します。

発生原因は、

・人為的ミス(維持管理不良等)によるものが13件(44%)で、その内訳は油の流出が11件、その他(工場、工事現場からの物質流出等)が2件となっています。

・自動車等の事故によるものが4件(13%)で、その内、油の流出に至ったものが4件となっています。

・自然現象によるものは1件(3%)で、コイヘルペスの発生が確認されています。

・原因が不明のものが全体の12件(40%)で油の流出が9件、魚のへい死が1件、その他が2件となっています。

H19水質事故の発生原因別(事務局受報分)

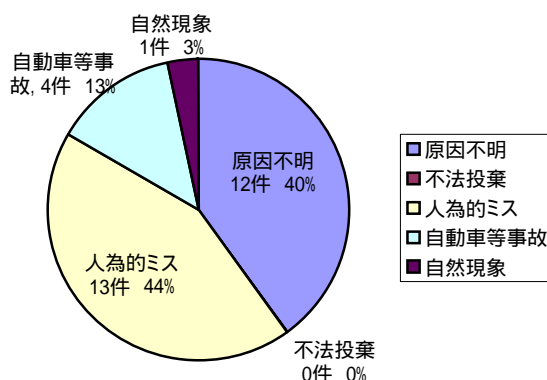


図 - 4

(5)河川別の受報件数

平成19年における、岡山三川の河川別水質事故受報件数を図 - 5 に示します。

受報件数の最も多い河川は旭川の13件となっています。

H19岡山三川別水質事故受報件数

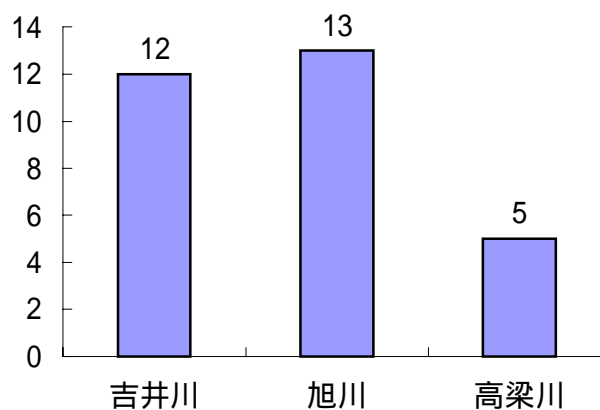


図 - 5

水質事故対応状況参考写真

